

令和6年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第 2 学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ひらがなやカタカナ、漢字などを正しく読んだり書いたりすること。 ○自分の考えを書いたり、友達に伝えたりする学習を多く取り入れることが必要である。 ○分かりやすく、相手の目を見て発表したり、大切なことを落とさずに聞いたりする力を付けることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の学習を丁寧に行ったり、日記を書いたりすることなどを通して、様々な文字を正しく書く習慣をつける。 ○考える手順やヒントを示す。毎時間、自分の考えを書いたり、伝えたりする時間を設ける。 ○国語科の学習だけでなく、日直のスピーチなども通して繰り返し練習したり、簡単な話題について対話したりする時間を設ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○互いに考えを伝え合い、学び合う力を身に付けさせることが必要である。 ○知識・技能を確実に定着させること。 ○数量や図形の領域では、具体的な量感や図をイメージする力を養う必要がある。 ○道具を正確に扱い、測定や作図を丁寧に行えるようにしていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交流の時間を増やしたり学習課題の難易度を変えたりして、習熟度に合った授業内容を展開する。 ○自分なりの解決方法で追究できる課題を提示する。 ○自ら予想し、その後、実際に測定してみること、数量へのイメージをもてるようにしていく。 ○道具の正確な使い方を指導し、反復練習の機会を設定する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○気付いたことを具体的な文章で表現する力を養う必要がある。 ○「楽しかった」という感想で終わってしまうのではなく、今後の生活にどう繋げていくのか考えを高めさせること。 ○教師は、観察カード以外の評価の見取りの方法を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が手本を示したり、よく書けている児童のワークシートを紹介したりして視点を与える。 ○事前に見通しをもたせたり、観察カードに今後の生活に繋がる項目を設けたりする。 ○児童の発言や、観察している姿勢などを記録して評価につなげる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに対して、発想力や想像力を広げていくこと。自分の想像を広げること。 ○材料や用具に十分に慣れるとともに、表したいことを基に表し方を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○製作に入る前に試し書きをしたり、描きたい物を考えたりする時間を確保する。 ○材料や用具の使い方を紹介するだけでなく、実際に使ってみたり、どんなところを描くために使えるか考えたりする。よい使い方ができている児童を全体に共有する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動技能全般に、個人差が見られる。いろいろな運動や動きを経験させる必要がある。 ○「並ぶ・整列する」という集団行動を意識させる必要がある。 ○勝敗を受け入れることができるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の時間に意図的にいろいろな運動を経験させる。また、休み時間も利用し固定器具に触れたり、様々な遊びに触れたりする機会を増やしていく。 ○体育朝会の行進や整列においても、集団を意識させていく。 ○相手を尊重することの大切さを繰り返し伝えていく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と児童の1対1のやり取りになってしまいがちである。意見をクラス全体に広め、共有していく必要がある。 ○価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自分の考えをもち、自信をもって伝えていくことができるように、発問を吟味したり、書く活動を積極的に取り入れたりしていく。 ○自分自身の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えさせるためにも、教師側が、意識して声掛けや掲示などを行い、道徳的心情を継続的に育成していく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく元気に歌唱しようと思うあまり、一部の児童がどなり声になってしまうことがある。まわりの声をよく聴いて、丁寧に歌うことを指導していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○範唱の柔らかい声や優しい声を参考にして、曲の雰囲気合った声で歌うようにする。また、互いの声を聴き合って、きれいな声で歌っている児童を褒めるなど指導の工夫をしていく。

外国語活動	○外国語の授業を楽しんではいるが、英語に対する苦手意識や失敗への恐怖心等がみられる。積極的に英語でのコミュニケーションを図っていく必要がある。	○ALT と連携し、児童が楽しめる歌やゲームなどのアクティビティを引き続き取り入れ、授業へ消極的な児童にも目を向けながら、担任・ALT と児童、また児童間での積極的な活動を促していく。
-------	---	--